



学校教育目標 ～支えあう・聴きあう・学びあう～

子どもたちが自分を再発見し、友だちを再発見し、学ぶことの価値と意味を再発見して「人生最高の6年間」を生み出す学校、そして、その営みを通して教師も親もともに育ちあう学びの共同体としての学校でありたい。

『「子どもの学びの場」を守るために』

校長 高橋 励

この夏休み、各ご家庭ではどのように過ごされたでしょうか。本来夏休み明けであれば、帰省や家族旅行、海や山川での行楽の思い出話が日焼け顔の子どもから聞けるのですが…。新型コロナウイルスの感染状況が拡大している中でのスタートとなります。さまざまな情報が飛び交うなか、「今」をどのようにとらえているかを共有するのはなかなか難しいのですが、一人ひとりのお子さんを預かる立場として、校長としてとらえている「今」をお伝えします。

7月20日に学校を通して配付した保護者にあてた市からのお知らせは「感染レベルを1→2に引き上げる」というものでした。

そして先日、8月26日に、9月3日まで「短縮日課」とすること、27日には、31日（本日）から「感染レベルを2→3に引き上げる」という判断がされたことについて、メールでお伝えしました。

茅ヶ崎市保健所HPの情報を追ってみると、お盆前とお盆明け、そしてその翌週とでは、小学生にあたる年代（10歳未満+10代）も陽性者の総数も増加しているように感じられます。各ご家庭でも、お子さまをはじめ、ご家族や身近な方々の健康と安心を守るための行動

の大切さを実感されていることと思います。一番大きな感染のリスクは「人と人との接触」と言われています。わたしは、これは「人」ではなく「ウイルス」との接触機会という意味合いでとらえています。子どもが学校に集まるといことは「人と人との接触」が生まれることとなりますが、校内にウイルスが持ち込まれなければ感染のリスクは下がります。

「学校での学び」は人と人が交流することが大前提。ともに学ぶ環境を維持するためには、目には見えないウイルスを校内に持ち込まないことこそ最大のポイントです。

裏面でお示しする学校としての感染防止対策は、まず「ウイルスを持ち込まない」ことを、そして、万が一、持ち込まれていても「個々の感染リスクを下げる」ことを達成するために検討したものです。

さまざまなお考えがあると思いますが、各ご家庭のご理解ご協力なしには、十分な効果につながりません。

また、感染により発生するリスクは個々に異なりますので、ご不安な点がありましたらためらわずにお問合せください。

わたしたち学校とご家庭とで、子どもの「今」を守るため、ぜひお力添えください。



# 「あなたにできること どれだけあるでしょう？」

まずは9月3日まで <sup>きょう</sup> 今日からはじまる <sup>まいにち</sup> 毎日のやくそく

- ・ご家庭それぞれにご都合はあると思いますが、学校としても感染レベル3への対応が求められています。まずは、子どもの生活の場でのお互いの感染リスクを下げるための「持ち込まない」取り組みへのご協力をお願いします。
- ・学校では、9月3日までの間、学校での生活の中で、ここに示す生活様式を改めて子どもにも伝え、いずれ自分で判断して行動できるように願いながら取り組みます。6日以降は、児童のようすと状況を注視し、必要に応じて修正も検討します。
- ・既往症など、感染した際のリスクなどから、お子さんの登校への不安がありましたら、まずは担任にご相談ください。
- ・今後、本校職員も含め、ご家族や身近な方の感染等も想定されます。新型コロナウイルス感染症陽性者・濃厚接触者と判断された場合は、速やかに学校(学級担任)に電話でご一報ください。感染拡大を最小限に抑えられるよう迅速に対応するために、情報は十分配慮をしたうえで全職員共有とさせていただきますが、ご心配な点がありましたら遠慮なくご相談ください。  
(なお、今後、校内での感染の可能性が心配される場合、PCR検査までの連絡対応は学年を中心に学校が窓口になります。)

## ◎おうちを出る前にたしかめます

- \***きちんと体温はかりました!** (毎朝の検温実施)
- \***今日も元気が確認しました!** (健康観察票記入)  
→発熱等体調不良(家族を含め)があったら登校控えて電話で相談! 医療機関受診! 登校しても教室には入れません
- \***きれいなマスク、つけました!** (マスクの着用)  
→お子さんの顔に合う大きさのマスク(予備を含めて)のご用意を! お子さんの健康にかかわることですのでお願いします
- \***きれいなハンカチ持ちました!** (手洗い習慣)  
→できれば予備のハンカチも!

## ◎ざんねん! それでは教室には入れません!

- \*朝の体温を計らないで学校に来た人。  
→モール下の先生にお願いして体温を計ります。  
→37.5℃を目安として引き取りをお願いします。
- \*健康観察票に印がついている人。  
→医師の判断がある特別な場合をのぞき、引き取りをお願いします。
- \*登校中に風邪症状など体調不良を感じた人。  
→引き取りをお願いします。

## ◎学校に着いたらしてほしいこと

- ～「おはよう」のあいさつもやさしく、ほどよく～
- \*「鼻まできちんとマスク」を確かめます。
- \*お友だちと近づかないようにしながら、ひかれた線のうえを学年ごとにモール下まで歩きます。
- \*昇降口ではあわてずに、少し人と間をあけてうわばきにはきかえます。
- \*朝、自分の席に座る前までに、学校で第一回目の手あらいをします。

\*教室についたら、自分の席に座って静かに過ごします。教室では、全員同じ方向を向いて座りません。大きな声は出しません。

**ざんねんですが、はやく来ても朝遊びはできません。**

◎みんなといるときに、<sup>き</sup>気にしてほしいこと  
～マスクごしの「やさしさ」の伝え方を<sup>つた</sup>考えよう～  
\*やさしい気持ちをもちながら、お友だちと体がふれないようにします。

- \*あなたの顔を、お友だちの顔を近づけることは、ぜったいにしません。
- \*たのしくお話したいときには、必ずマスクをして、手が届かないくらいはなれて、小さい声でお話します。大きな声はだしません。
- \*みんなで同じ場所にあつまることはしません。
- \*困っているお友だちや元気がないお友だちがいたら、やさしく声をかけます。
- \*授業のなかで、席から離れたり、だれかに手伝ってほしかったり、助けてほしかったりするときは、まよわないで安心して先生を呼びます。
- \*いつもより元気が出なくなったり頭がぼーっとしたりしたときは、先生にいます。
- \*教室以外の場所(トイレ、図書コーナー、ふれあいホール、よそのクラスなど)に行ったあとは、手を洗います。
- \*暑い日に、マスクをしていて息が苦しくなったときには、まよわず先生に声をかけてマスクを外します。マスクを外しているときには、人とお話ししません。
- \*授業で必要なものがなくてこまった時には、お友だちのものは使わず先生にいます。
- \*心配なことやいやなことがあったら、まよわず先生にお話して聞いてもらいます。

## ◎給食の時間、とくにまもってほしいこと

- \*必ず全員が石けんでの手洗いをします。
- \*食べるものは、先生に入れてもらいます。
- \*まっている間は、自分の席でマスクをしたまま前を向いて、静かに待ちます。
- \*用意ができて食べるときには、マスクを外したらお話はしません。
- \*残った食べ物は、自分で戻します。
- \*牛乳のパックは、たたんでゴミとして集めます。
- \*配膳室の給食委員のお手伝いは当分お休みです。

## ◎休み時間の過ごし方

感染レベル3…身体的距離の確保=2m程度

- \*教室以外の場所に行くときには、必ず石けんで手を洗います。特に、教室に戻る前にしっかりと洗います。
- \*校庭には出られますが、からだを伸ばしたり、さんぼしたりするくらいにします。校庭の遊具には近づきません。
- \*追いかける、つかまえる、走り回る、にげるなど体がふれあうような遊びや大声を出す遊びはしません。ふれあいホールはすべり台も使いません。
- \*教室などで静かに絵をかいたり本を読んだりしているときに、お友だちとおでこや顔を近づけることはしません。
- \*クラスボールの使用は、少しの間できません。
- \*図書コーナーでの読書は、少しの間できません。
- \*相談室で遊ぶことは、少しの間できません。

## ◎おそうじの時間は？

- \*9月3日（金）まではおそうじの時間はありません。教室をできるだけきれいに使いましょう。

## わたしの夏休みの「再発見」！➡

7月22日（木）に浜之郷小学区青少年推進協議会主催で行ったモール下清掃へご参加いただいた皆さま、暑い中をありがとうございました。この清掃のおかげで、開校以来23年目を迎えたこの学び舎の外壁と正門からのアプローチのタイルの本来の色を、ちょっとだけ見ることができました。とても鮮やかな外観だったようです。もうすぐ夏は終わりますが、日焼け跡のようにこの写真の場所は残っています。学校ホームページではカラーで見られます。機会があれば平成10年代の色合いを味わってみてください。

## ◎「さようなら」のあいさつのあとは…

- \*9月3日までは特により道をしないで帰ります。
- \*おうちに着いたら、必ず石けんで手を洗います。
- \*いつもなら学校で勉強している時間は、遊びにはいきません。また、学校のグラウンドで遊ぶことはできません。

学校としては、以上のことをふまえて、子どもの学びの場と時間を支えてまいります。ただし、6歳から12歳までの、それぞれ多様な個性を持つ一人ひとりの受け止め方は一律ではないところがあります。各ご家庭でのご理解とご協力をいただくことで、よりよい日常に近づけるものと思っています。

最後に、本日、テレビカメラ越しではありますが、全校集会で児童に次の話を紹介しました。子どもは子どもなりに、大人は大人なりに、一人ひとりが自分にできることに取り組んでいけるよう願っています。

もりも  
森が燃えていました

もり い  
森の生きものたちは われ先にと 逃げて いました

でもクリキンディという名の  
ハチドリだけは いったりきたり  
くちばしで水のしずくを一滴ずつ運んでは  
ひ うえ  
火の上に落としていきます

どうぶつ  
動物たちがそれを見て

「そんなことして いったい何になるんだ」  
とわら  
いって笑います

クリキンディは こう答えました

わたし わたし  
「私は、私にできることをしているだけ」  
「ハチドリのひとしずく いま、私にできること」、

辻 信一 訳 光文社より、

